

## ①再生産人口の増加策

### 子育て世代の支援

生産年齢人口減少の一方、常用労働者数は増加。

#### 福井県

- ◆共働き世帯比率：56.8%(全国1位)
- ◆保育所収容定員：69.7%(全国1位)  
⇒待機児童ゼロ
- ◆出生率：1.61/2010年

#### 「元気な子ども子育て応援計画」

##### <保育サービスの充実>

- ・保育所の整備、延長保育等の実施施設数の増加
- ・病児保育の促進

##### <3人っこ応援プロジェクト>

3人目以降の3歳未満の子どもにかかる医療・保育費用を原則無料化

##### <父親の子育て奨励>

ノー残業や育児休業の独自税度など仕事と子育ての両立支援を実践する企業を表彰するとともに、登録し、HPIにて公開

#### 長野県下條村



- ◆人口：4200人/2010年  
(3839人/1980年,10%増)
- ◆出生率：1.97/H10-H14

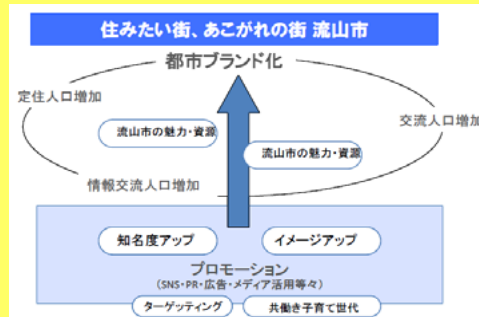
##### <子育て支援>

- ・破格の子育て世代向け住宅  
60m<sup>2</sup>、駐車場2台分 33,000円
- ・中学生まで医療費無料

##### <徹底したコストカット>

- ・経常収支比率 68.5%(千代田区76.1%)
- ・職員数 9人/住民1000人
- ・簡易な道路工事は村民自身で

#### 千葉県流山市 ⇒5年間で11,000人、7%の人口増



- ◆子育て世代支援  
・駅前送迎保育ステーション整備  
・学童クラブ等の整備

- ◆シティセールスプロモーション  
「都心に近い」「森のまち」「子育て」の3つキーワードで共働き子育て世帯にアピール

#### 神奈川県相模原市

##### 住みやすく発展を続ける都市

Plusツアー・プロダクツアー 番組収録・ドラマ収録 (タイアップ含む) Facebook →425 マーケティングツールでの実現へ

桜花	広域交流拠点都市	宇宙
潤い・コミュニティ	賑わい・発展	教育
(H24) 1~2月 ストーリー開拓	6月 市役所食堂プログラム	5月 金曜日食
(H25) 1~2月 番組向け発信	9月 ジオラマリニューアル 以降 圏央道・相模大野・リニア 神奈川、さがみはらフェスタ	6月 はやぶさの日
		9月 ホロケットコンテスト
		さがみはらフェスタ、その他

1. 桜まつりなどに代表される「コミュニティを通して潤いが溢れる都市」のイメージを発信

2. 広域交流拠点に象徴される「未来に向けて賑わい・発展する都市」イメージを発信

3. 宇宙を題材にしたテーマを中心に「子どもたちの成長を育む都市」のイメージを発信

⇒シティセールスと併せて住宅開発・防災対策も推進

## ブランド力の向上+住宅施策

## ②他地域からの流入

<以下の資料を基に事務局作成>

- ・平成22年国勢調査(総務省) ・平成23年度決算カード(総務省) ・平成22年度福祉行政報告例(厚生労働省)
- ・福井県経済の構造分析と戦略(日本銀行福井事務所) ・全国町村会HP ・福井県HP ・千葉県HP ・相模原市HP ・流山市HP ・下條村HP